

■第10回あきたスマートシティ協議会 議事録

| | | |
|--------------|--|---|
| 日時 | 平成25年9月27日(金) 14:00~16:00 | |
| 場所 | 秋田市議場棟 第三、四委員会室 | |
| 参加者 (敬称略) | 検討会 委員 | 特定非営利活動法人科学協力学際センター川添理事長(委員長) 秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科 板垣准教授 東北電力株式会社秋田営業所 専門役 杉田専門役 東部ガス株式会社秋田支社 保坂副支社長 秋田商工会議所 柴田専務理事 一般社団法人あきた地球環境会議 福岡事務局長 日本アイ・ビー・エム株式会社 Smarter City 推進 加茂部長 ジョンソンコントロールズインク(米国本社) 三田村ディレクター(代理: 割田氏) アイ・エム・サービス株式会社 大山統括部長 秋田市環境部 古里部長 株式会社日本総合研究所 総合研究部門マネージャー 小長井 計11名(順不同) |
| | 事務局 | 秋田市環境部、株式会社日本総合研究所 |
| 配布資料 | 資料1 あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会 委員名簿 資料2 本年度協議会運営方針 資料3 情報統合管理基盤WG 協議会報告 資料4 地域ESCO・LEED WG 協議会報告 資料5 地産エネルギーWG 協議会報告 資料6 低炭素モビリティWG 資料7 ビジョンWG 事業報告 (仮称) ライフスタイルイノベーションWG 資料8 スマートアプリ(仮称)WG 協議会報告 資料9 省エネ指南所(仮称) 資料10 次世代エネルギーパーク 資料11 あきたスマートシティ協議会 議事録 | |

1 WG 活動報告及び次年度活動方針

各 WG より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下の通り。

(1) 情報統合管理基盤 WG

今後とも費用対効果をあげる努力をする必要がある。

(2) 地域 ESCO・LEED WG

エネルギー削減は 8 月現在で 111%達成している。冬の電力需要増加時期に向け、一層省エネ努力を続ける。

(3) 地産エネルギーWG

地域へ利益を還元する仕組みの構築が重要。

(5) ライフスタイルイノベーション WG (ビジョン WG から改称)

自転車利用の促進を考えていくが、中心市街地のにぎわい創出など地域経済についての視点も必要。

(4) 低炭素モビリティ WG

カーシェアリングについては、他事例の調査などを行い市内の理解を深めていく。

(6) スマートアプリ事業、省エネ指南所 (仮称)

スマートアプリは今後 WG を組成して検討していく。

省エネ指南所は秋田市の事業として進めていく。

(7) 次世代エネルギーパーク

秋田市の特徴としては、多様な再生可能エネルギー施設が立地しておりバラエティーに富んでいることである。また、ごみ発電の積極的なアピールも重要。

2. 次回協議会スケジュール

次回第 11 回協議会は 3 月開催を予定。

以上